

令和2年2月3日
(2020年)

保護者の皆様へ
(家庭数配付)

学校教育アンケートの結果について

吹田市立東佐井寺小学校
校長 内田 祐子

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。過日ご協力いただいた学校教育アンケートでは保護者418名の方にご回答をいただきました(回収率90.7%)。結果を集計し、資料を作成いたしましたのでご覧ください。アンケート結果をもとに学校の教育活動が児童の実態や保護者の思いに対応できているかを検証し、今後の取り組みに活かしていきたいと考えております。

1. 児童アンケートから

※全体として、ほとんどの設間で昨年度と大差はなく、ほぼ同傾向の結果でした。特に高学年においてすべての設間で昨年度より肯定的な意見が増えている結果でした。しかし、低学年では肯定的な意見が減少している項目がありました。

- ①授業を通して育てて
いきたいこと 「授業はわかりやすい」と肯定的に回答した児童の平均は96%となっています。「先生は、私たちの話を聞いてくれる(94%)」、「先生は、学習の中で自分が努力したことを認めてくれる(高学年のみ回答:93%)」と回答している児童の比率は特に高学年において肯定的な意見が増えています。学習でわからないことがあれば先生に聞き、課題を解決しようとする姿勢が育っていると考えられます。一方で、「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることができる」では、「思わない」児童が7%います。今教育では、人間の生涯にわたって続く「学び」に向かう人間性の育成が求められています。基礎学力の定着はもちろんですが、その知識をいかにつかっていくか等、課題を解決していく力を育み、新しい時代を生き抜くために求められる「総合的人間力」の育成を図ってまいります。その手立てとして、一人で考える力だけでなく、相手にわかりやすく伝える能力や子ども同士が互いの意見を「聞く」、「話す」、「伝える」ことを充実させたいと考えています。
- ②自分の思いを伝える 「学校へ行くのは楽しい」と回答した児童は93%でした。「運動会や遠足などの行事は楽しい」と回答した児童は98%あり、積極的に行事に取り組んでいることなどがわかります。「児童会活動は、積極的に参加している」という肯定的意見が87%あり昨年度よりも8%上昇しています。これは、児童会において、子どもたちが自分たちで企画・発信し、全児童で取り組む活動が定着し、活発な交流がはかれている結果と思われる。今年度は2月に児童会主催のお祭りをもう一度行います。低学年も出店します。「学級は、自分の意見が言える場になっている」と回答した児童が84%で、高学年は昨年度より7%上昇しましたが、低学年において「話し合いの時、自分の思っていることが言える。」が79%と課題が残りました。「先生は話を聞いてくれる」は94%ありますが、高学年において「気軽に相談することができる先生がいる」では81%と、昨年と引き続き本心を語る事が難しい子どもたちの現状が伺えます。困ったことや悩

みがあるときに相談できる相手・安心できる場所を作っていく必要があると考えます。教職員間で連携を図りながら、子どもたちが互いに話しやすい学級・雰囲気づくりに留意し、自分の意見を伝える大切さを実感できるように取り組んでまいります。

③人権教育

95%の児童が「命の大切さや社会のルールについて学習することがある」と回答していますが、低学年において肯定的意見は3%減少していました。避難訓練や道徳・特活の授業を通して、目的・意図をはっきり理解させ、取り組みを行うように心がけます。互いを支え認めあい、自分で物事を考えて行動できるよう今後も取り組みを進めてまいります。

2. 保護者アンケートから

※ほとんどの設問で昨年度と大差はなく、ほぼ同傾向の結果でした。しかし回収率も含め全体的に肯定的比率の減少傾向が見られます。

①家庭と学校とのコミュニケーションについて

「学校は、教育方針をわかりやすく伝えている」の肯定的な回答が95%あり、学校から発信している情報をしっかりと受け取っていただけていることをうれしく感じています。しかし、「学校は家庭への連絡や意思疎通を積極的にきめ細かく行っている」という回答では11%、「(保護者ご自身は)学校との意思疎通を積極的に図っている」も15%近く『思わない』との回答がありました。また「幼稚園や中学校と交流している様子をわかりやすく伝える」の肯定的回答は77%と低い結果となりました。「学校だより」や「学校ブログ(HP)」を通じ、学校行事や普段の活動の様子などの情報を積極的に発信してまいります。(「学校ブログ」は随時更新し、お伝えしてまいります。学校HPを参照ください。)

今後も保護者・地域の方にとってわかりやすく学校の様子を伝えているかを意識し、保護者の皆様と共に、「子どもたちのために」を原点に理解を深めていきたいと考えております。

②仲間づくりについて

「いじめのない学級づくりに取り組んでいる」項目では、昨年度と同様90%の方より肯定的な意見をいただきました。引き続き教職員の研修機会を増やし、学期に1回生活アンケートを実施し、児童が示すサインを見逃さないよう早期発見に努めてまいります。(しない・させない・見逃さない)

「先生は子どもの間違った行動に、厳しく指導してくれる。」の項目が91%で昨年度より5%低くなっています。言葉づかいや仲間同士のトラブルなどにおいて、教師が毅然と指導する場合と子どもに寄り添って指導する場合があります。どの場面でも、「いじめは絶対に許されない行為である」という立場にはかわりはありません。状況を確認するとともに、指導した内容について子どもが理解し、改善していこうという気持ちや態度を育てることが大事であると考えています。今後も子どもとの関係づくりを大切にし、指導してまいります。

③願いに応える学校に

「授業参観懇談など、よく参加している」「学校が保護者に出す文章や事務連絡などよく読んでいます」という回答を多くの方からいただきました。これは、心身ともに健やかな児童の成長を願い学校行事の運営に協力し、進めていただいているおかげだと考えています。今回いただきましたご意見を参考に、子どもたちにとって「安心・安全」な学校づくりを目指します。そして、今後も「いじめのない学級づくり」、「楽しくわかりやすい授

業」に取り組み、「学校へ行くのが楽しい」、「授業がわかりやすい」といえる学校づくりをさらに進めてまいります。

④自由記述より

自由記述欄にもたくさんのご意見をいただきました。その一部となりますが、ご意見を紹介します。いただきました皆様の意見について、しっかりと考察しながら、本校の教育活動の改善に生かしていきたいと思っています。

☆「子どもの主体的な学びを引き出す発問の研究～ズレから問いを生む授業～」のテーマについての情報があまりなく、わからない。「ズレ」とは何のズレなのか。

サブテーマにあります「～ズレから問いを生む授業～」は主に『友だちの考えとのズレ』『予想とのズレ』『感覚とのズレ』『既習とのズレ』の視点から授業改善を進めています。指導者が意図的に自分の考えと友だちの考えとが異なることが予想される問題を提示し、子どもたちが自然と「話したい」「確かめたい」と思えるような発問や場の設定の研究をしています。もちろん、従来通りの基礎基本の学習も行っています。

☆行事や用意する持ち物の連絡をもう少し早く知らせてほしい。

決定次第、学校だよりや学年だよりを通じて早めに連絡できるように努めます。

来年度は、学習指導要領の改訂にともない、時間割など大きく変わる場所があります。以前お知らせしました通り、体育館改修のため運動会を1学期（5月30日（土））に行うなど、例年とは違う行事日程になる可能性もあります。現在、来年度の行事等最終確認を行っているところです。決まり次第、年度内にお伝えできるようにいたします。

☆課外クラブの終了時間が遅くないか。

下校の際は、声を掛け合い、一人で帰ることのないように担当者より声をかけてまいります。しかし、冬期は暗くなることがはやいことから、18時には正門を出ることができるよう各課外クラブとも指導内容を精選していくことといたします。

3. まとめにかえて

お忙しい中、学校アンケートにご協力いただきありがとうございました。保護者の皆様からいただいた一つひとつのご意見は、学校運営を考えていく上での貴重なご意見と真摯に受け止めさせていただきます。回答していただいた皆様の声を大事にしながら、「子どもたちのために」を第一に考えて、今後も子どもたちにとって安全で安心して学べる、よりよい学校を目指してまいります。

毎年行っている学校自己診断アンケートは、その結果を考察し明日からの教育活動に活かすことに大きな意味を持っています。今回も内容を検討する中で、学校・家庭・地域の三者が手を携えて子どもの成長に関わることの大切さに改めて気づかされました。子どもたちがすくすくと成長していくためには、学校だけの力では到底成し得ません。学校の状況や教育に関する情報は、できる限り伝える機会をもちたいと考えております。学校だよりや学年だより、学校ホームページなどを利用しながら、日々の子どもたちの様子や学校の取り組みについてお伝えしてまいりますので、ぜひご覧になって下さい。

子どもたちにとって「安心して学べる学校」に、保護者の皆様にとって「わかりやすい、話しやすい、出かけやすい学校」をめざし、教育内容の充実を図ってまいります。今後とも東佐井寺小学校の教育にご協力をよろしくお願いいたします。

保護者アンケート結果（グラフ）

